

IEP 配慮チェックリスト
ACT WorkKeys ペーパー試験 (PT)

2015 年 11 月改訂

以下に特定した州の配慮評価は、生徒の IEP に書かれている教育用配慮を反映したものです。これは生徒が指示を与えられたり、教室で試験を受けるときに常に教室内で提供されているもので、これまで成功を納めています。IEP チームが記入する場合、このチェックリストは生徒の IEP の一部になります。

名前: _____ 学校名: _____ 学年: ____ 年: ____ 科目: _____

A. 予定を立てる配慮。試験は以下の様に行われます

- 1. 生徒に最も利点のある時刻に。(個人別)
- 2. 試験を数日間かけて行う。(科目別の試験はその日以内・個人別に完了することが必要です)
- 3. 標準的な時間に休憩を追加する。(個人別)
- 4. 時間限度を _ 1 時間半、_ 2 倍の時間、または _3 時間に延長。(個人別)
- 5. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

ALSDE 承認時のみ。

B. A. 配慮の設定・実施。試験は以下の様に行われます

- 1. 生徒の家庭で。(在宅生徒/PT のみ)
- 2. 言葉で生徒に説明が提供される間、手話の通訳を使って。(通訳は説明のみを
通訳します。通訳は項目の意味を明らかにしたり、または解釈をしてはいけません。)
- 3. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

ALSDE 承認時のみ。

C. 書式および/または装置の配慮。試験は以下の様に実施されます

- 1. 読み手の原稿を使って試験実施者が読み上げ、セッションについて 3 時間を超えない。(個人別)
- 2. DVD による読み上げをヘッドホンを使って実施し、セッションについて 3 時間を超えない。
- 3. 読み手用の原稿を使った、**正確な英語のみ**の手話。(個人別)
- 4. 視力障害のある生徒向けのそろばん。
- 5. 大きな文字の回答欄付きの大きな文字の試験文書。
- 6. 点字。
- 7. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

ALSDE 承認時のみ。

D. 録音の配慮。試験は以下の配慮を用いて行われます:

- 1. 生徒は試験冊子の回答に印をつけます。(PT のみ)
- 2. 生徒の回答は筆記者によって記録されます。(個人別)
- 3. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

ALSDE 承認時のみ。